

今号の主な記事

- ◇「さくらやまなみバス」本格運行へ ……4・5面
- ◇震災記念碑公園に記帳所を設置 ……2面
- ◇山口ホールの利用申込を受付 ……6面
- ◇新春クイズ 西宮「百選」紹介 ……8面



甲山讃歌

絵・伊藤 久代(西宮美術協会会員)

中核市「西宮」

みんなの夢がかなうまち



西宮市長

山田 知

新年あけましておめでとうございます。市民の皆さんには、健やかに新年をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。

私はこのたび皆さんのご支持をいただき、引き続き3期目の市政を担わせていただくこととなりました。新年のはじまりにあたり、改めて責任の重さに身が引き締まる思いです。「大好きな西宮をもっとよくなりたい、すべては市民のために」との思いを胸に、皆さんのまちづくりの夢を集大成するジャンプのステージとなるよう、引き続き粉骨砕身の覚悟でまちづくりに臨んでまいります。

今年の中核市としてさらに飛躍する年にしたいと思います。昨年西宮北口に大型商業施設「阪急西宮ガーデンズ」がオープンし、今春には甲南大学マネジメント創造学部が開設され、甲子園地域には「キッズニア」も進出するなどまちには活気にぎわいが増してきています。今春には阪神電鉄も近鉄難波駅へ乗り入れするなど、都市機能も一段と高まってきます。今後とも市政の健全化を堅持しながら、教育や福祉など市民生活の充実を進めるために、中核市として移譲された権限を生かし、まちづくりを進めます。

私は西宮市が子どもたちの夢をはぐくみ、夢を実現できる可能性のあるまちであってほしいと願っています。学校教育充実への支援はもちろん、「海の甲子園事業」や「人形劇甲子園」など西宮市の特性を生かし、子どもたちへ夢を与える事業やまちの知名度アップにも取り組めます。そして、一部の地域での急激な人口増への対応や高齢化の進展、環境にやさしいまちづくりの推進などの課題を乗り越え、すばらしい西宮をつくるために、皆さんに市政へ積極的に参加していただき、ともに知恵を出しあっていきたいと考えております。

私はこのたびの選挙で、7つの施策を柱とした約束を皆さんにさせていただきました。西宮をとりまく情勢は大きく変わりつつありますが、時代の流れを読み取り「未来を先取り」した的確な施策を皆さんとともに進めてまいります。「文教住宅都市・西宮」のさらなる発展のために一緒に取り組んでまいります。